

試験日           ： 2026 年 2 月 21 日（土）  
入試種別        ： 大学院入学試験(4 月入学)修士課程 春期試験  
学部・研究科： 文学研究科 日本史学専攻  
科目名           ： 専門科目

## 解答又は解答例

当該科目は、受験生の大学院入学後の研究に必要な基礎的な知識と、史資料の読解能力を問うものである。解答が一義的でなく解答例の提示はなじまないことから、以下に出題方針と採点のポイントを示す。

### 1 論述問題

日本史学専攻は、古代史・中世史・近世史・近現代史・仏教史・考古学・美術史・文化財科学の八分野のゼミから構成されている。したがって、論述問題では、それぞれのゼミにおいて研究を遂行するための基礎知識を、八題によって問うている。また、日本史学専攻では、主ゼミと副ゼミの二つの演習科目を履修することを推奨しているため、受験生はそのうち二題を選択することとしている。

採点については、以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- ・設問中の語句を正しく理解できていること。
- ・的確な文章で述べられていること。
- ・当該問題に関わる研究史に関する知識を有していること。
- ・当該問題に関わる研究上の課題や展望に触れていること。
- ・なお、誤字や脱字、用語の誤用は減点を行う。

### 2 史料問題

日本史学専攻では、全分野のゼミにおいて文献史学の基礎的能力を身につけるよう求めている。したがって、史料問題では、受験生各自の研究テーマに関連する時代の史料の読解能力を問うている。受験生は、古代史・中世史・近世史・近現代史の四題から一題を選択することとしている。

採点については、以下の点を踏まえて総合的に評価する。

- ・史料を正しく読めること。
- ・史料を正しく理解できていること。
- ・史料の歴史上の位置づけを的確に把握していること。
- ・史料中の語句や制度、人物などの知識を有すること。
- ・史料を的確に現代語に訳すことができること。
- ・なお、誤字や脱字、用語の誤用は減点を行う。